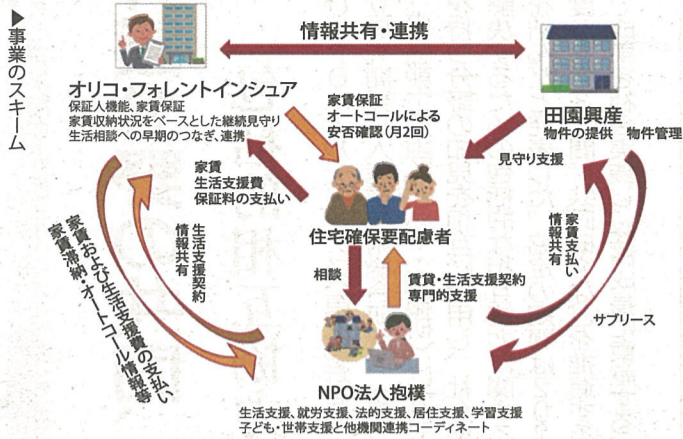


支援付登録住宅の支援連携図



生活破綻、未然に防止
家賃滞納リスクを低減

北九州・NPO法人抱樸

特定非営利活動法人抱樸(北九州市)は、主に困窮者・ホームレスを対象に支援を行っている。2018年より、高齢・低所得者などを主な居住対象とした見守り支援付き住宅「プラザ抱樸」(同)の運営を開始。同住宅はマンションの空室を転用しており、住宅確保困難者の受け入れだけでなく、賃貸住宅の空室増加という課題の解決にも貢献する。

空室転用、見守り支援

抱樸は、1988年に行われた日雇い労働者の実態調査をきっかけに設立された法人。北九州市を始め、福岡市、中間市、山口県下関市などで活動している。主に、北九州市内の公園での炊き出し、ホームレス自立支援センター北九州の運営、仕事に関する相談・訓練、居住支援を行っている。2021年3月までに、約3600人の自立支援を実施してきた。法人の活動をサ

ポートする正会員数は、現在191人。18年より運営を開始したプラザ抱樸は、JR城野駅から徒歩10分の場所にある。建物は鉄筋コンクリート12階建て、耐震・耐火構造。全110部屋のうち、60部屋を法人が借り上げ、46部屋をプラザ抱樸として運営している。地元不動産会社である田園興産がオーナーとなっており、抱樸がサブリースしている。現在、オリコ・フォロントインシュアが家賃保証を担っている(図表参照)。主に抱樸の相談事業や地域包括支援センターなどからの相談などで、安価な住居の確保と生活の見守りが必要とされる人が入居している。

特徴は、管理人による訪問見守り、必要になった場合は就労支援などを受けられる点。

「介護ビジネスの未来を創る」
週刊高齢者住宅新聞
Elderly Press Newspaper

2021年(令和3年)
6月23日
第632号 (毎週水曜日発行)

(株) 高齢者住宅新聞社
〒104-0061
東京都中央区銀座8-12-15
☎03-3543-6852(編集部)
発行人 網谷敏敷
年間購読料 23,100円(送料込・税込)
ホームページ
https://koureisha-jutaku.com



▲▼プラザ抱樸の内観

管理人は、3日に1回程度入居者を訪問。また、月2回のオートコールにより安否を確認する。これにより、孤独死を防ぐほか、家賃滞納などの問題を事前に察知。法人による各種支援につなげることで未然に対処が可能になる。

月額料金は、家賃が2万9000円のほか、公益費6050円、生活支援費2200円となっている。法人では、オーナーより1部屋2万円借り上げて、プラザ抱樸として活用される。訪問見守り、必要になった場合は就労支援などを受けられる点。

TOPICS

ニュース・総合 2~4面
ワクチン接種支援ツール
介ボ協 来週までに50法人増へ

介護Biz 5~8面
バーチャルツアー向けに
行動変容でデイ稼働率向上
空き家回収で交流の場

福祉 9~10面
Dカフェ
「提供」ではなく「場作り」

行政・ネットワーク・団体 11面
フレイル対策の必要性

ケア現場 13面
介護タクシー、町民の「足」

商材・サービス 14面
陰圧クリーンドーム販売

関西 17・18面
入居者の自由な暮らし尊重
「ワクチン粉末化」促進

ヘルスケアフォーカス 20面
ファクタリング手数料安く

「安価に借りることができ、家賃も低く設定できています」と話す。サブリース差益の9000円と生活支援費の2000円、合計1万1000円を見守りなどの生活支援に掛かる費用に充てている。当法人が見守り、生活支援を行うことで、賃貸保証会社・オーナーは家賃滞納などのリスクを低減できるとの期待を込めて、高橋靖宏氏が務める。ツクイHDの100%出資により7月1日に設立予定の子会社Grasoiについて、現ツクイ取締役の小林久美子氏が代表取締役就任する。

「安価に借りることができ、家賃も低く設定できています」と話す。サブリース差益の9000円と生活支援費の2000円、合計1万1000円を見守りなどの生活支援に掛かる費用に充てている。当法人が見守り、生活支援を行うことで、賃貸保証会社・オーナーは家賃滞納などのリスクを低減できるとの期待を込めて、高橋靖宏氏が務める。ツクイHDの100%出資により7月1日に設立予定の子会社Grasoiについて、現ツクイ取締役の小林久美子氏が代表取締役就任する。

6月21日は昼の時間が最も長くなる夏至。冬至にはほぼ昼夜を食べる、ゆず湯に入るといった風習がある。同様の風習は夏至にもあり、関西ではタコを食べるという。田植の時期と重なることから、「稲がタコの足のようにしっかり根を張るよう」という意味がある。▽大和総研は11日に公表したレポートにおいて、コロナ禍において、外国人介護人材というのはいかがだは前年度と比較して増加したと発表した。日本の外国人労働者数は、20年には前年比で増加幅が大きく縮小したが、「技能実習(介護)」が前年比197.4%となった。その要因については、政府に

ツクイ、新社長に高島氏
6月22日付で

高島毅 社長

高島毅氏がツクイHD及びツクイの代表取締役社長に就任すると発表。現ツクイHD代表取締役CEOの津久井宏氏、ツクイ代表取締役社長の高橋靖宏氏の両名は同日、任期満了により退任する。

高島氏は、1997年にツクイ(現ツクイHD)に入社。有料老人ホーム第二推進

- 6月24日以降の主な動き
- 6月24日(木)
 - 東京都看護協会 「令和3年度通常総会」(会場:東京都 東京都看護協会会館)
 - 6月25日(金)
 - 一般社団法人全国介護付きホーム協会 「2021年度第1回広島・山口・愛媛県介護付きホーム連絡会」(オンライン開催)
 - 6月25・26日(金・土)
 - 一般社団法人日本慢性期医療協会
- 「第17回日本慢性期医療学会・浜松大会 やらまいか! “慢性期医療”」(会場:静岡県 アクトシティ浜松)
- 6月28日(月)
 - 厚生労働省 第4回医薬品等行政評価・監視委員会 (オンライン開催)
- 6月30日(水)
 - 社会福祉法人全国社会福祉協議会 中央福祉学院 ロフィス湘南 2021年社会福祉主事資格認定通信課程(民間秋期コース) 申し込み締め切り

サポートもしている。会場にパソコンを設置して相談員にクチンを接種できるようにするため、問診は高齢者が順番を越えていきたくないと考えている。

施設内コンビニ設置 利用者が電子マネーで買い物

結の樹



丸山隼人 社長

結の樹(愛知県長久手市)が運営する住宅型有料老人ホーム「結の樹天白(名古屋)」では6月より、施設内にミニストップのオフィス設置型ストア「ミニストップポケット」を導入した。

ミニストップポケットは施設1階の共用部に設置。利用者はキャッシュレスで支払い決済を行う。

「キャッシュレスのため、管理しやすく金

地域にも開放



▲施設内コンビニで買い物を楽しむ利用者

銭トラブルの心配もありません。コロナ禍で外出控えが続くなか、利用者の買い物の楽しさが増えるようにと導入しました。職員にも喜ばれています(丸山隼人社長)

同施設では、企業から依頼されたおもちやの検品やポケットティッシュの袋詰めなどの作業を、ボランティアとして利用者が手伝っている。これに参加するとポイントがたまり、施設側が用意した菓子やジュースと交換できるほか、外出などの希望をスタッフが叶えているという。今後は、このポイントで電子マネーに変換し、ミニストップポケットで利用できるよう、準備を進めている。

「貯めたポイントで孫が遊びに来たらお菓子を買ってあげたい」と楽しみにしている利用者もいます(丸山社長)

仕組を作りたいと思いが以前から活発だった

同施設では、今後、施設内コンビニを地域住民にも開放するとい

炊き出しで健康相談 生活保護者対象に

独居の生活保護高齢者を重点に訪問リハビリ鍼灸マッサージを提供するアマルレ治療院(横浜市/運営:SO SEI Tech)は6月より、コロナ禍で深刻化している高齢者の認知症予防のため、横浜市寿町で無料の健康相談を開始する。横浜市が週に1度行っ

いる炊き出しにボランティアとして参加し、健康相談の受付と身体チェックを行う。

保険適用である訪問リハビリ鍼灸マッサージのサービスの存在を

知らない生活保護高齢者が多く、なかには体調が悪化し、入院を余儀なくされたケースがあることから、同院では、生活保護高齢者をメインにサービスを提供。コロナ禍により、リハビリなどのサービス利用控えをする高齢者が増え、また人と会話をする機会も著しく減っていることから、無料相談を開始することになった。生活保護高齢者が多く住む地域にボスティングを行ったところ、コロナ禍以前と比べ、生活保護受給者の利用が3倍に増えたという。



▲「みんなの家」2階の勉強スペースは学生でにぎわう

法人の事務所でもあるコミュニティハウスみんなの家は、2018年に空き家を活用して開設。1階が地域サロン、2階が学生向けの勉強スペースとなっており、地域の高齢者や学生の居場所となっているという。

コミュニティハウス



濱野将行 代表理事

一般社団法人 えんがお

空き家改修で交流の場 栃木県大田原市でコミュニティづくり

栃木県大田原市には、高齢者と学生が集う「コミュニティハウスみんなの家」がある。運営している一般社団法人えんがお(栃木県大田原市)は、このコミュニティハウスを拠点に、高齢者の孤立の解消と若者の成長の場づくりに取り組んでいる。

の徒歩約2分圏内には、同じく空き家・空き店舗を活用した障害者グループホーム、地域食堂、若者向けシェアハウス、法人の活動参加者向け無料の宿泊所を運営。日替わり食堂やヨガ、空き家改修体験などのイベントが多数開催されており、

世代を超えた地域住民のコミュニティが形成されている。

現在、コミュニティ全体で高齢者は年間延べ約2500人、学生は同法人主催のイベント参加者延べ約1000人、勉強スペース利用者延べ約2000人の交流人口を生み出しているという。

同法人では主要事業として保険外の生活支援事業を展開。1時間500円で卓むしりや家具整理、買い物、病院同伴、散歩の付き添いなどを行う。保険外サービス利用をきっかけに、地域サロンに参加する高齢者が多い。

また、SNSなどで活動を発信しており、同法人の活動や理念に共感してくれた学生がコミュニティハウスを訪ねてくる。社会貢献したいという気持ちのある学生や体験を通じて学びを得たいという学生に、生活支援サー

ビスの同行やイベント運営の手伝いなどを担ってもらっている。

本格的に社会活動に取り組みたいという学生は、「えんがおサポーター」として会員登録でき、保険加入などもサポートするほか、イベント時には同法人

が運営する宿泊施設を無料で提供している。現在20名が登録している。

「週に1度しか人と話さない」「電球が切れても交換を頼める人がおらず暗いまま過ごす」など、制度だけでは届かない高齢者の



▲「みんなの家」2階の勉強スペースは学生でにぎわう

介護 BIZ

導入 1000 事業所 到達記念キャンペーン

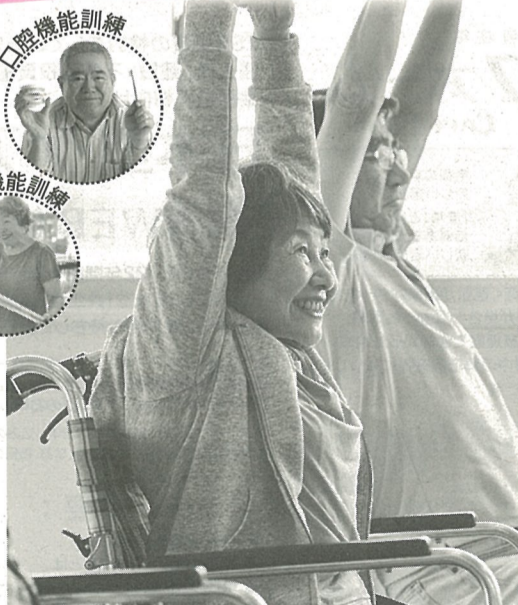
先着 200 事業所限定
お得なご案内実施中

2017年より販売開始した機能訓練サポートシステム「ACE(エース)」のご契約数1000事業所到達を記念して、お得なキャンペーンのご案内を開始しました。新たにACEをご契約の先着200事業所限定です!

導入後2か月無料

月額料金 13,800円→12,500円

自宅用DVDプレゼント



機能訓練加算の算定でお悩みではありませんか?

- ✓ システム利用料が高い
- ✓ 看護職員での算定が難しい
- ✓ 帳票作成に時間がかかる
- ✓ 何から始めたらよいのか分からない

加算サポートシステムACEで解決

対応加算: 個別機能訓練加算・口腔機能向上加算

専門職不在でも安心して加算取得できる理由

- 利用者評価
大学教授が開発した身体機能・口腔機能評価を活用できる!
- プログラム提案
利用者評価に応じて訓練内容を自動提案。(DVD・WEB配信)
- 帳票作成
書類の自動作成機能で誰でも5分で完成。実地指導対策にも!

詳しくは ACE 加算 で検索 お問合せ先: ☎ 03-5437-5131 受付時間 平日 10:30~18:30

電

▲異状が検知されたらメールで知らせる

が入る。もし電話に出ない場合は、「入居者の孤独死

つなげたい」(広報担当)

する。

▲「みんなの家」2階の勉強スペースは学生でにぎわう

▲「みんなの家」2階の勉強スペースは学生でにぎわう

▲「みんなの家」2階の勉強スペースは学生でにぎわう

▲「みんなの家」2階の勉強スペースは学生でにぎわう

▲「みんなの家」2階の勉強スペースは学生でにぎわう

▲「みんなの家」2階の勉強スペースは学生でにぎわう

▲「みんなの家」2階の勉強スペースは学生でにぎわう

▲「みんなの家」2階の勉強スペースは学生でにぎわう

▲「みんなの家」2階の勉強スペースは学生でにぎわう

▲「みんなの家」2階の勉強スペースは学生でにぎわう